

## ⚠ 注意

### 設置上の注意

- ソファーやパーソナルチェアの移動は、必ず2名以上で運搬してください。

製品をひきずっての移動は、床面の傷や製品破損の原因となります。



- 肘掛けや背もたれなど、張り地をつかんで製品を運搬・移動しないでください。

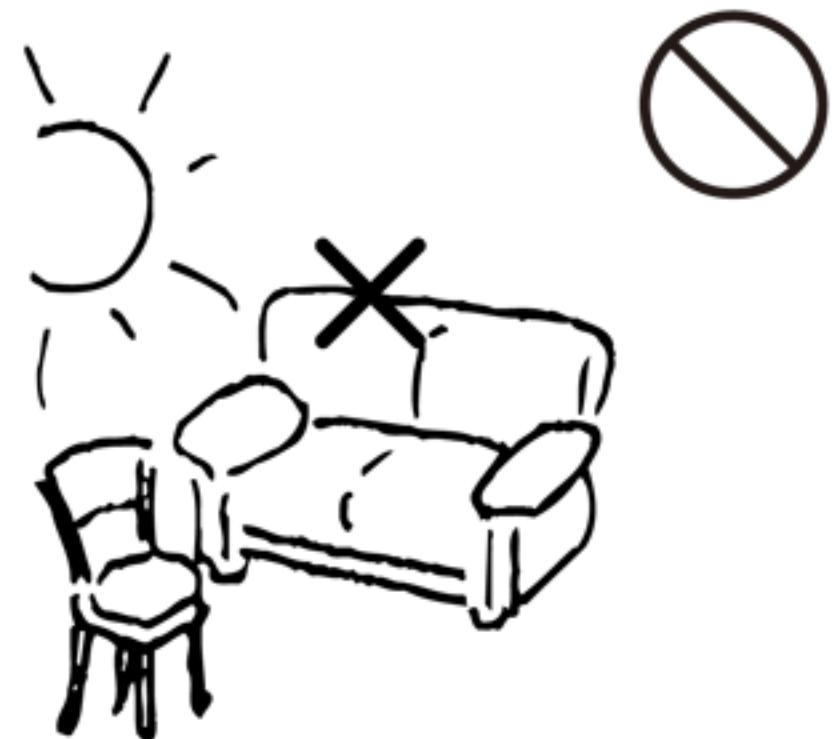
縫製部のほつれや張り地が破れるなど、製品破損の原因となります。



- 直射日光のある場所への設置はお避けください。

日焼け・変色・変形・乾燥によるひび割れなどの原因となります。

また、皮革製品は紫外線が皮革の油分に影響し、皮革の硬化・ひび割れの原因となります。



- 暖房器具や放熱器具の近くには、製品を置かないでください。

火災や、変形・変色・ひび割れの原因になります。皮革製品は、熱や乾燥した空気にあたりますと、皮革に必要な水分や油分を無くし、皮革のひび割れ・変形・変色の原因となります。



- 高温・多湿な場所には置かないでください。

製品を傷める原因となります。



- 製品は、平らな場所に設置してください。

平らな場所に設置しないと、ガタツキや転倒、製品破損の原因となります。



- 床面がフローリングや畳などの場合は、敷物を敷いてからご使用ください。

床面へのキズやへこみの防止になります。

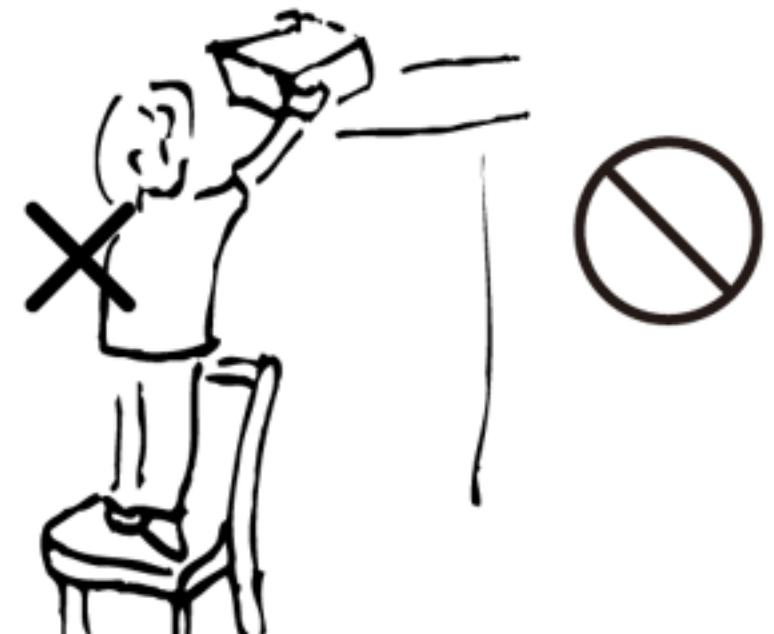


## ⚠ 注意

### ご使用上の注意

- 座る目的以外では、ご使用にならないでください。

転倒によりケガをしたり、製品破損の原因となります。



ソファーをベッド代わりに使用しないでください。腰痛の原因となることがあります。



- 製品の上に立ったり、飛び跳ねたりしないでください。また、不安定な姿勢で腰掛けないでください。

不意に転倒してケガをしたり、製品破損の原因となります。



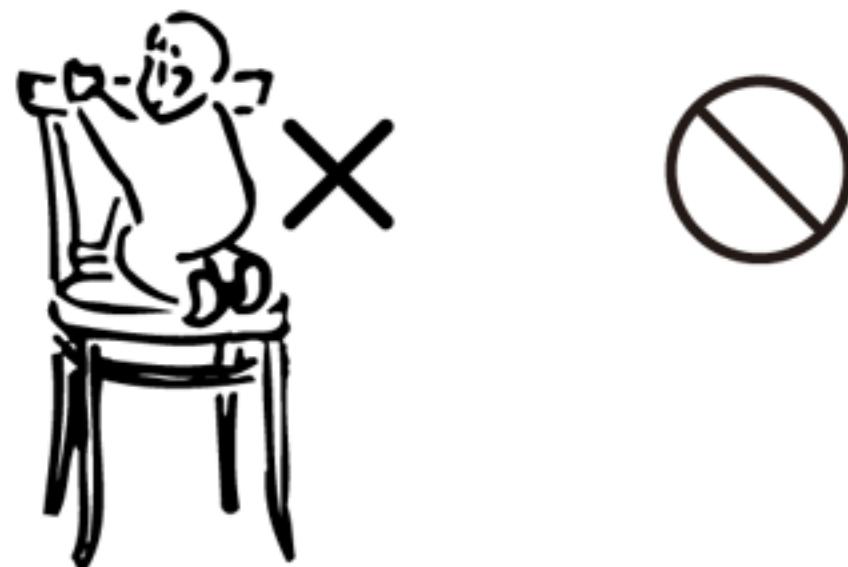
- 肘掛けや背もたれに乘ったり、腰を掛けたりしないでください。

不意に転倒してケガをしたり、製品破損の原因となります。



- 製品の上で、幼児を一人で遊ばせないでください。

転倒してケガをしたり、製品破損の原因となります。



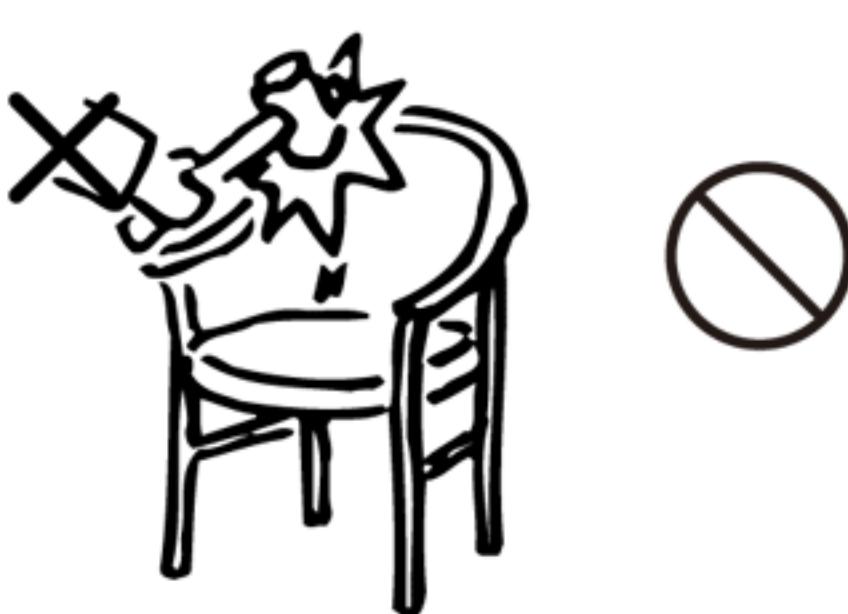
- 肘掛け、背もたれ、座面には、物を乗せないでください。

乗せたものが落下してケガをしたり、製品破損の原因となります。また張り材や、クッション材を傷める原因になります。



- 製品には、強い衝撃を与えないでください。

製品破損の原因となります。



- 製品に座った状態で、揺らしたり傾けたりしないでください。

転倒してケガをしたり、製品破損の原因となります。



- 本製品をご使用者ご自身又は他業者により、変造・改造しないでください。

ケガや、故障・破損の原因となります。



## ■ キャスター付製品補足説明

- キャスター付の製品については、人が乗った状態で押して遊んだり、台車代わりにしないでください。

転倒してケガをしたり、製品破損の原因になります。



## ■ 回転機能、座高調節、リクライニング付製品補足説明

- 座の回転機能や座高の調節、リクライニング操作が出来る製品については、その機能で遊んだり、作動部分に手を触れないでください。

ケガをする恐れがあります。



- 操作をするときは、まわりに人や障害物が無いことを確認してから行ってください。

人に当たってケガをしたり、製品破損の原因となります。



## ■ 収納付製品補足説明

- 扉の開閉時にものが当たるような置き方をしたり、座面にものを乗せたまま開閉しないでください。

乗せたものが落下したり、製品破損の原因となります。



- 収納スペースに入ったりしないでください。  
製品破損や事故の原因となる恐れがあります。



## 皮革製品について

- 皮革は天然素材のため、生物の成長段階での治り傷があることがあります。これらは皮革の品質上の欠点ではなく、本革の証しです。
- 皮革は天然素材のため、色合いや風合いが異なることがあります。特にアニリン仕上げや、裏革の皮革にはその傾向があります。
- アニリン仕上げなどの高級皮革は風合いを最大限にいかすため、コーティングや型押しを一切せず、染色だけの仕上げにしてあります。そのため、色落ちや色違いが生じる場合があります。
- ヌバック・ベロア・スウェードなどの起毛皮革製品は、その性質上色落ちすることがあります。



## お手入れ方法

- 取付部品や作動金具は、ゆるみやグラッキがないか、ときどき点検してください。ゆるんでいた場合はしっかりと締め直してください。ゆるんだ状態のまま使用するとケガや製品破損の原因となります。
- 汚れの除去には、溶剤（シンナー・ベンジン等）は絶対に使用しないでください。皮革を痛める原因となります。
- クッションは時折たたいて空気をいれ、形を整えてください。特に羽毛入の場合充填物が片寄ることがありますので、定期的に形を整えることをお勧めします。



## 皮革張り地

皮革は天然素材のため、正しいお手入れが必要です。できるだけ皮革の品質を長持ちさせるため、次のことにご注意ください。

- 湿気を嫌いますから、毎日のお手入れは、柔らかい乾いた布で軽く拭いたり、ブラッシングをしてください。
- 毎日のご使用により、髪の毛やその油脂分・整髪料などが皮革表面に付着しますので、定期的に皮革用クリーナーで取り除いてください。  
(クリーナーによっては皮革に適さないこともありますので、目立たない部分で試してください。)
- 半年に一度は皮革用クリームでのお手入れをお勧めします。  
(化粧用ハンドクリームなどは、シミ・皮革の硬化などの原因になることがありますので、ご使用はおやめください。)
- 皮革にジュース・コーヒーなど水溶性の汚れが付着した場合は、乾いた吸水性の良い布などですばやく吸い取り、自然乾燥した後、皮革用クリームでお手入れしてください。
- 皮革の水拭きはしないでください。  
皮革を硬化させ、ひび割れ・ゴワツキ・きしみ音の原因になります。



- 皮革のお手入れには、中性洗剤のご使用はお避けください。  
中性洗剤は皮革に必要な油分まで取り除いてしまい、皮革のひび割れ・硬化・変色などの原因となります。 
- 皮革のお手入れには、靴用クリーム・自動車用ワックス・溶剤（ベンジン・シンナーなど）は絶対に使用しないでください。  
溶剤などは皮革表面を破壊し、色落ちやひび割れの原因となります。 
- ヌバックなどの起毛皮革については、起毛皮革用のクリーナーやクリームをご使用ください。  
なお、起毛皮革はその性質上色落ちすることがあります。 
- カビが発生した場合は、速やかに表面を拭き取ったあと、皮革用力取り剤でカビの除去をおこなってください。  
カビ取り剤によっては、皮革に適さないことがありますので、目立たない部分で試してください。 

### 木製品

- 毎日のお手入れは、柔らかい布地で軽く拭いてください。汚れを落とす場合は、中性洗剤を2～3%程度にぬるま湯で薄め、柔らかい布を浸し、よく絞って拭き取り、その後水で浸した布で洗剤を拭き取り、自然乾燥してください。 

### 布張り地

- ゴミやホコリは、柔らかい布やブラシで払い落とすか、掃除機などで取り除くようにしてください。汚れは、中性洗剤を2～3%程度にぬるま湯で薄め、柔らかい布を浸し、よく絞って表面をたたくようにして汚れを取り、その後水で浸した布で洗剤を拭き取り、自然乾燥してください。 

### 虫害について

- 虫害が発生した場合は、ただちに殺虫や防虫処理をしてください。  
放置した場合、虫害が拡大する恐れがあります。 